

飲食業での働き方の実態・イメージ調査 ～フード業界の仕事の魅力と課題～

本レポートは、飲食業をめぐる働き方の実態や意識について、個人に調査した結果をまとめたものです。調査対象は4セグメントに分かれています。飲食業で現在就業している「就業者」、過去に就業経験がある「離職者」、飲食業での就業経験はないが就業に興味関心はある「意向者」、飲食業での就業経験がなく就業に興味関心もない「非意向者」です。

調査の結果を見ると、「お客様から感謝される」「提供するサービス、商品が魅力的」といった点が飲食業の魅力となっている一方で、労働負荷や給与、新型コロナウイルス関連のリスクは課題となっていると考えられます。人材不足感が高まっているといわれる飲食業において人材を確保するためには、これらの魅力を高め、課題に取り組み、イメージアップを図ることがより重要になるでしょう。

主な調査結果

仕事の選択理由、勤務先の実態、仕事を継続する理由【就業者】 (p.2～3)

- 飲食業で働いている就業者にその勤務先を選んだ理由を聞くと、「お客様から感謝される」63.5%、「通勤の利便性がよい」63.0%、「まかない、食事補助がある」58.0%、「職場の人間関係がよい、よさそう」56.5%などが上位に挙がった。

必要を感じる改善点、辞めたいと思った理由【就業者】、離職理由【離職者】 (p.4～5)

- 必要だと思う改善点を聞くと、増員による業務負荷の軽減、処遇向上、職場環境の改善などが上位となった。また、今の勤務先を辞めたいと思ったことのある飲食業就業者にその理由、過去に飲食業で働いていたが離職した人に離職理由を聞くと、給与や労働負荷に関する項目が共通して上位となった。

意向理由【意向者】、非意向理由【非意向者】 (p.6)

- 飲食業で働いたことはないが働いてみたい人にその理由を聞くと、「お客様から感謝される」77.5%、「提供するサービス、商品が魅力的」76.0%などが上位に挙がった。一方、飲食業で働いたことはなく働いてみたい気持ちもない人に理由を聞くと、「仕事内容が体力的にきつそうだから」81.8%などの労働負荷や、「給与、報酬が低い、低そうだから」68.8%などの給与に関する項目が上位となった。

飲食業のイメージ【就業者・離職者・意向者・非意向者】 (p.7～8)

- 就業者と離職者に飲食業の仕事のイメージを聞くと、「未経験でも仕事ができる」「人から感謝される」「多くの人と交流できる」「給与水準が低め」「新型コロナウイルスで経営が影響を受けやすい」「体力的にきつい仕事が多い」などが上位となった。
- 意向者では「多くの人と交流できる」37.0%、「人から感謝される」33.5%、「未経験でも仕事ができる」32.8%、「仕事にやりがいがある」29.3%といったポジティブな項目が多く上位に挙がった一方、非意向者では「体力的にきつい仕事が多い」46.3%、「新型コロナウイルスで経営が影響を受けやすい」38.0%、「給与水準が低め」36.3%といったネガティブな項目が上位となった。

勤務時間【就業者】 (p.9～10)

回答者プロフィール (p.11)

調査概要

調査名	飲食業に関する調査 (2022)
調査方法	インターネット調査
調査期間	2022年9月27日 (火) ～9月29日 (木)
調査対象	全国 20～64歳の男女、正社員 (役職なし) /パート・アルバイト/学生/専業主婦/無職 下記4セグメント各400人 -「就業者」 現在、飲食業で働いている人 -「離職者」 過去に飲食業で働いたことがある人 -「意向者」 これまで飲食業で働いたことがない、かつ飲食業での就業意向がある人 -「非意向者」 これまで飲食業で働いたことがない、かつ飲食業での就業意向がない人

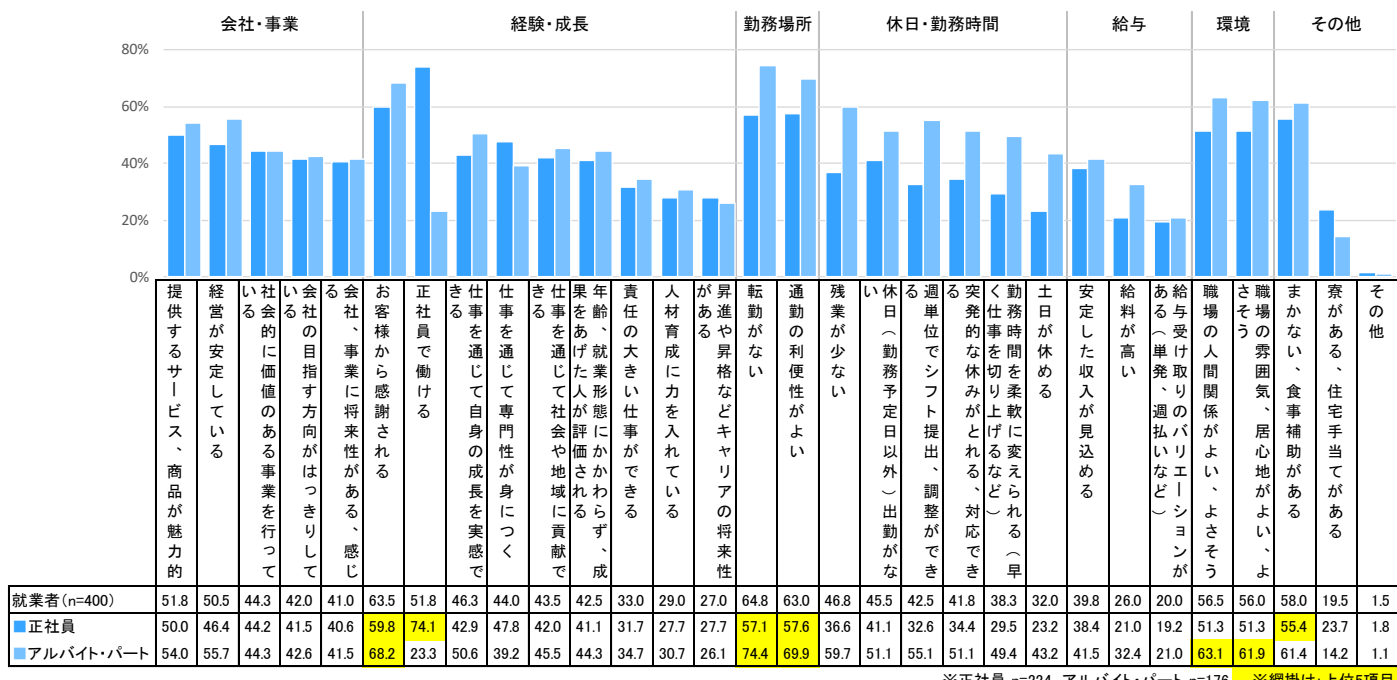
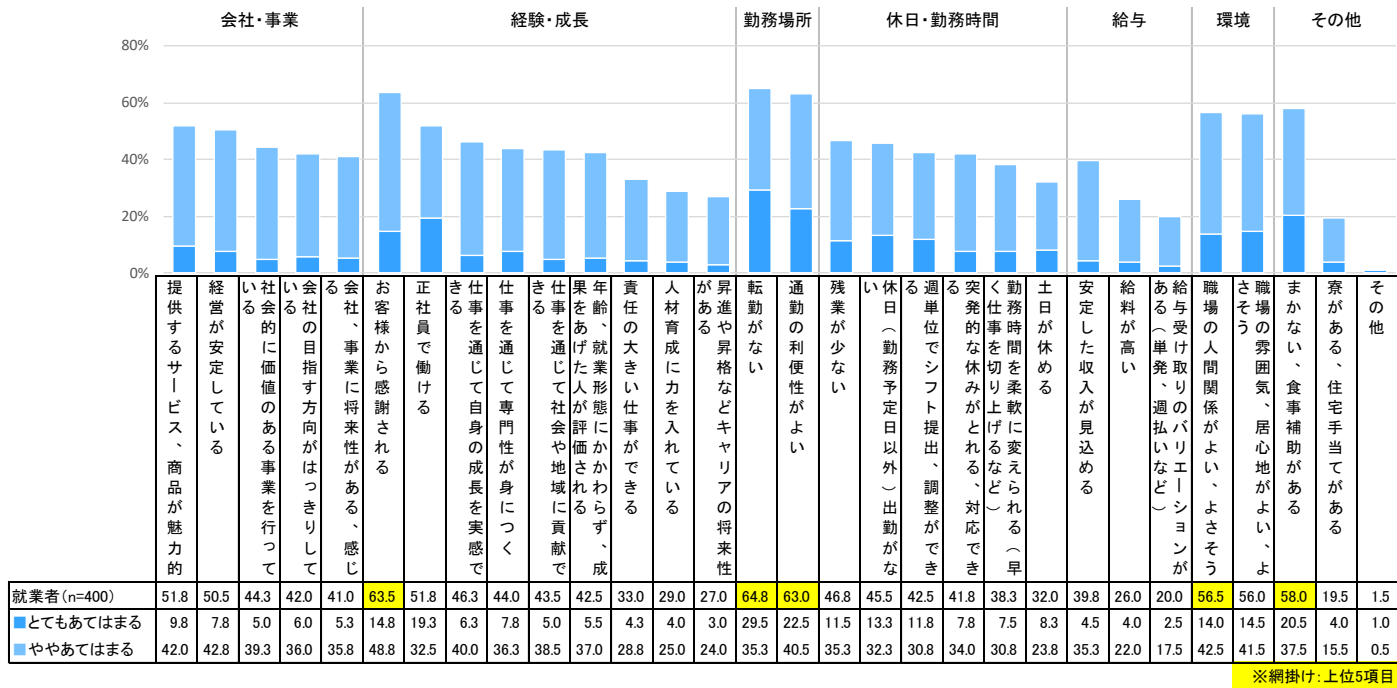
※回答者プロフィールはp.11参照。

※四捨五入の関係で数表内の%の合計が100とならない場合がある。

仕事の選択理由 **就業者**

現在、飲食業で働いている就業者にその勤務先を選んだ理由を聞くと、「通勤の利便性がよい」「お客様から感謝される」「まかない、食事補助がある」「職場の人間関係がよい、よさそう」などが上位に挙がった。一方で「給料が高い」「昇進や昇格などキャリアの将来性がある」などはあまり割合が高くない。

正社員とアルバイト・パートで分けてみると、アルバイト・パートの方が、勤務場所や休日・勤務時間に関する項目で割合が高い。



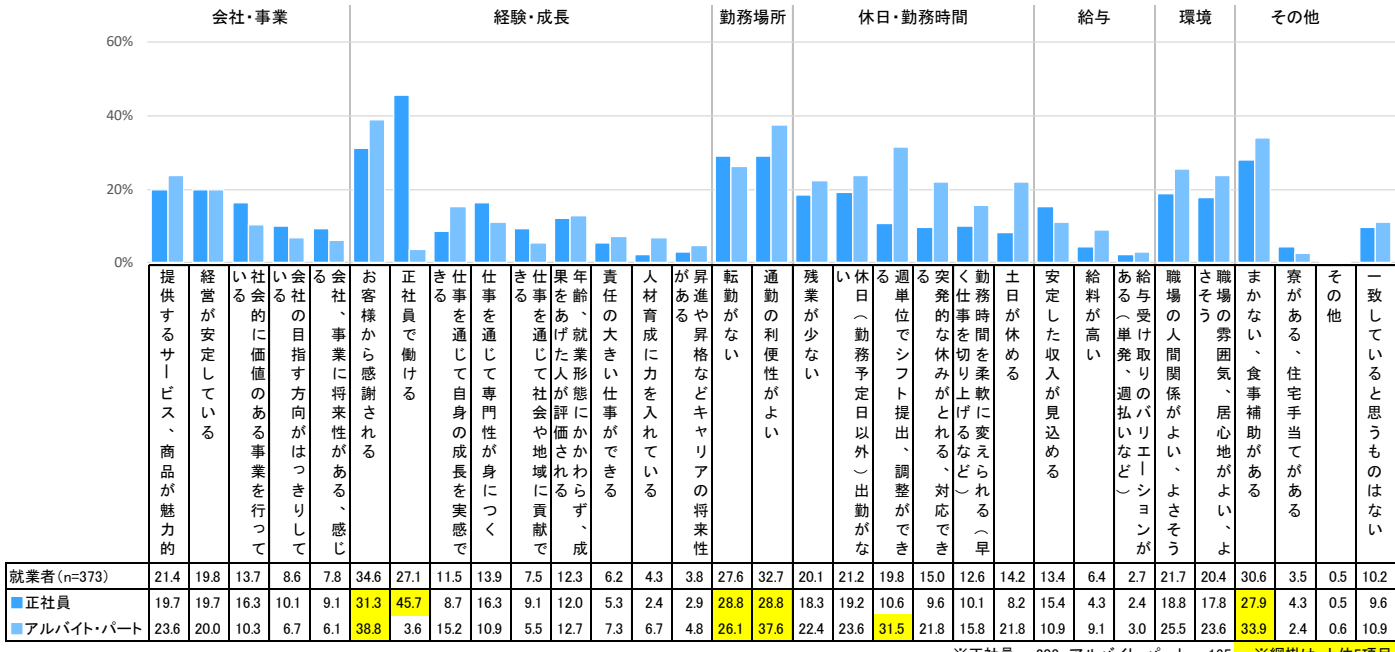
Q 現在の勤務先（店舗、事業所、支社）を選んだ理由としてあてはまるものをお選びください。【対象：就業者】（単一回答「とてもあてはまる／ややあてはまる／あまりあてはまらない／全くあてはまらない」）

勤務先の実態、仕事を継続する理由 **就業者**

勤務先の選択理由（前ページ参照）のうち実態と一致しているものを聞くと、「通勤の利便性がよい」「お客様から感謝される」「まかない、食事補助がある」など、選択理由と共通の項目が上位に挙がった。

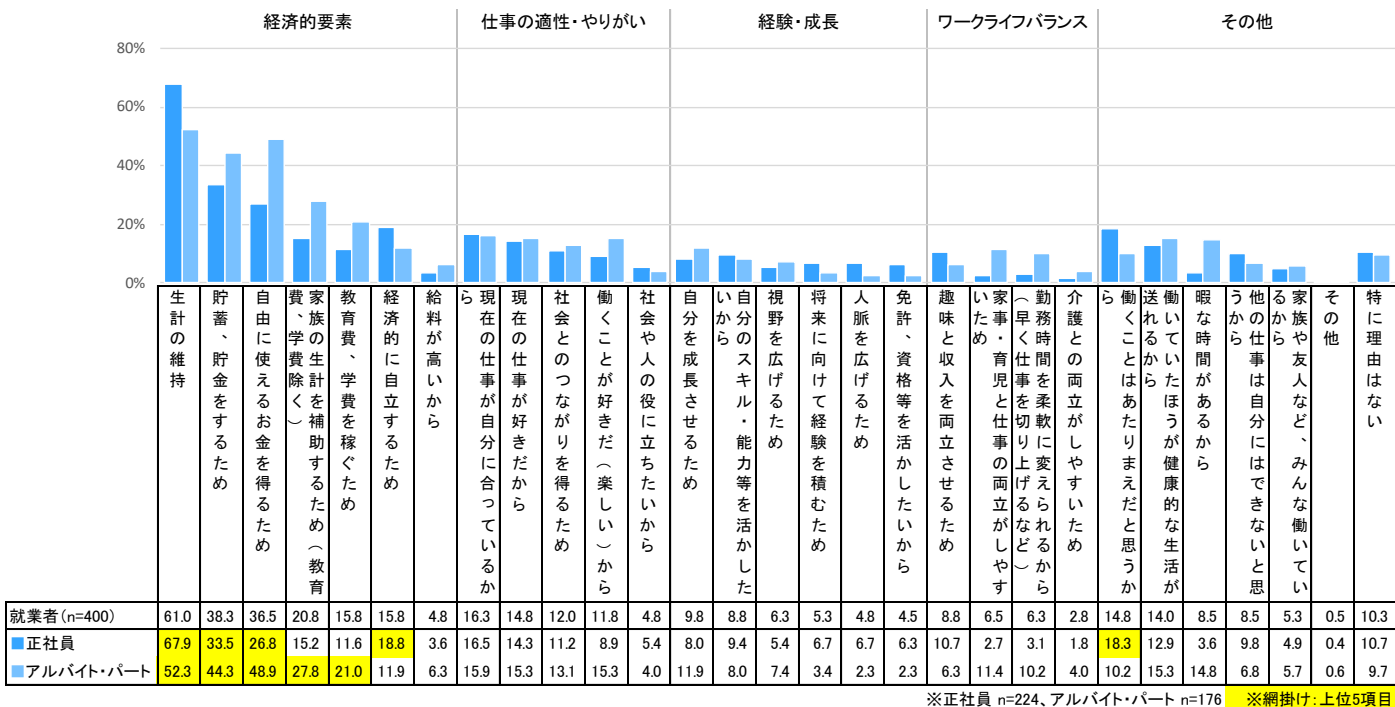
また、今の仕事を続けている理由を聞くと、「生計の維持」など経済的要素のほか、「現在の仕事が自分に合っているから」「働くことはあたりまえだと思うから」などが上位となった。

■勤務先の実態



Q 現在の勤務先（店舗、事業所、支社）で、一致していると思うものをお選びください。【対象：就業者】（複数回答、仕事の選択理由として選択したものから回答）

■仕事を継続する理由



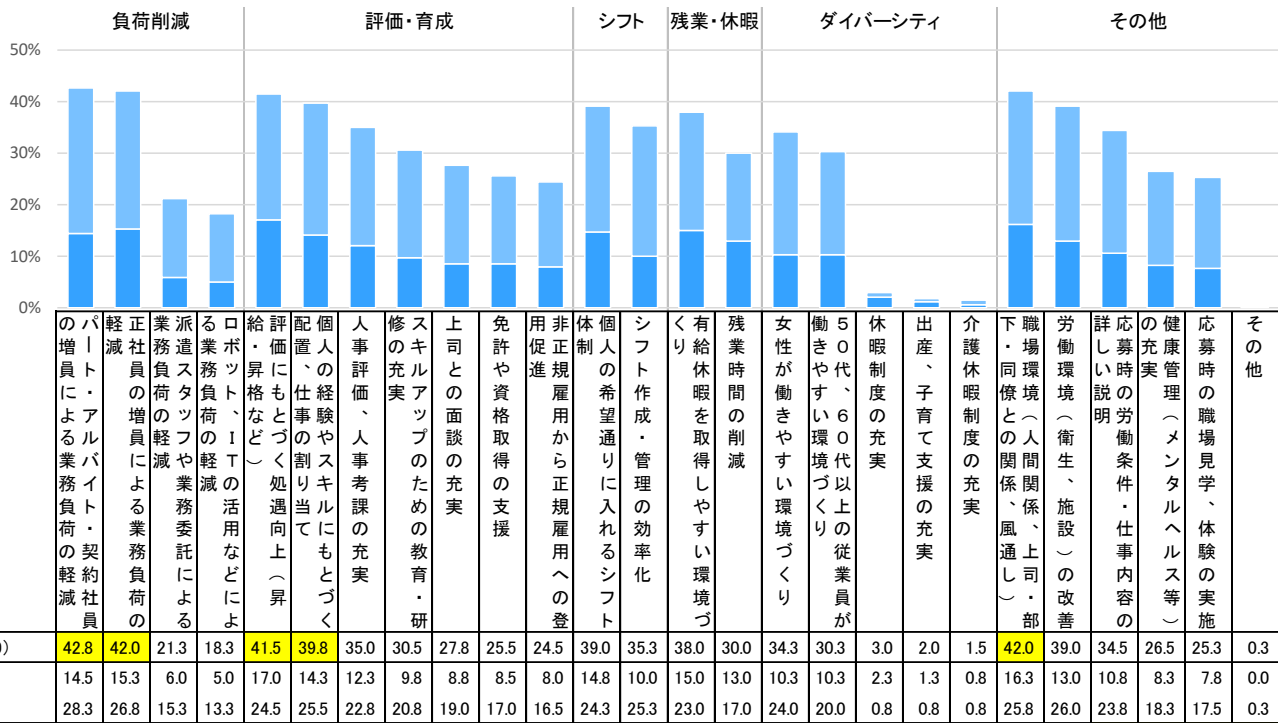
Q あなたが現在の勤務先（店舗、事業所、支社）で継続して働いているのほどのような理由がありますか。【対象：就業者】（複数回答）

必要を感じる改善点

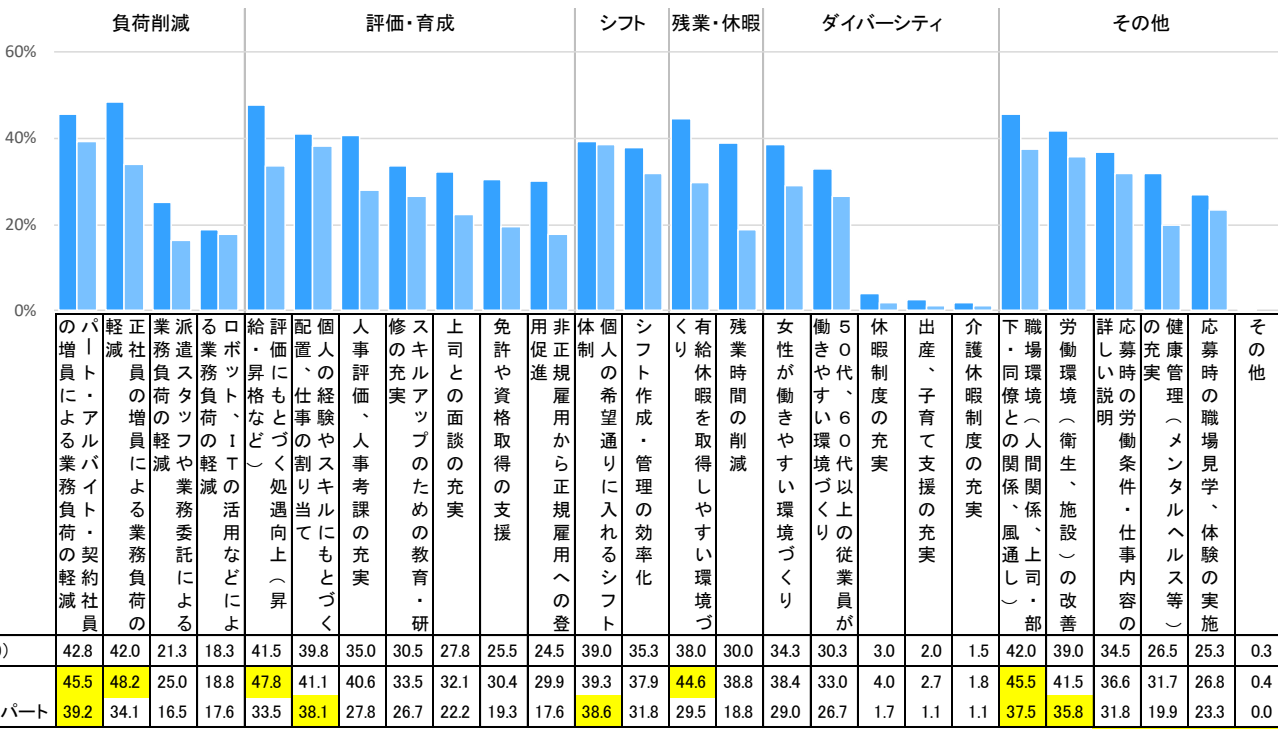
就業者

現在の勤務先で必要だと思う改善点を聞くと、増員による業務負荷の軽減、処遇向上、職場環境の改善などが上位となった。「労働環境（衛生・施設）の改善」も約4割となっているのは、新型コロナウイルス感染症も影響している可能性があるだろう。

正社員とアルバイト・パートで分けてみると、正社員は評価・育成や残業・休暇、アルバイト・パートではシフト関連で比較的割合が高い。



※網掛け：上位5項目



※正社員 n=224、アルバイト・パート n=176 ※網掛け：上位5項目

Q あなたの勤務先（店舗、事業所、支社）は何らかの改善が必要と思われるですか。【対象：就業者】（単一回答「非常に必要／必要／あったほうがよい／特に問題なし・不要」）

辞めたいと思った理由、離職理由

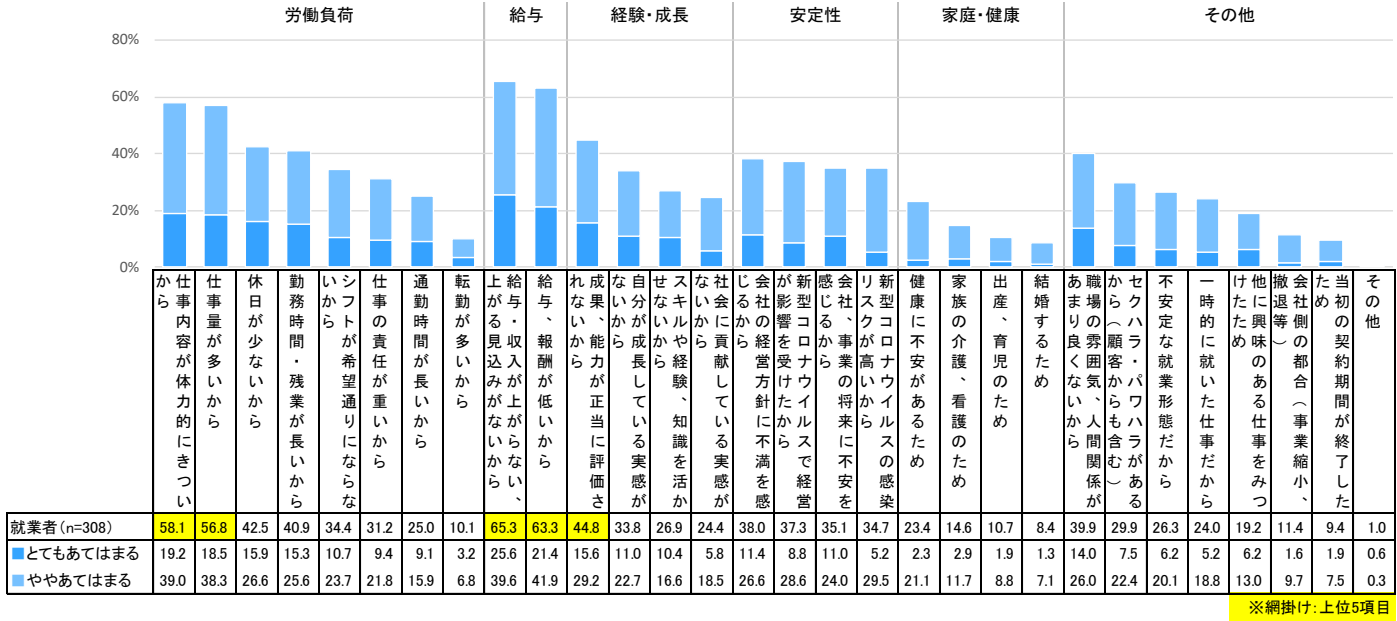
就業者

離職者

今の勤務先を辞めたいと思ったことのある飲食業の就業者にその理由を聞くと、「給与・収入が上がらない、上がる見込みがないから」など給与に関する項目や、「仕事内容が体力的にきついから」など労働負荷に関する項目が上位に挙がった。「新型コロナウイルスで経営が影響を受けたから」も4割弱となっている。

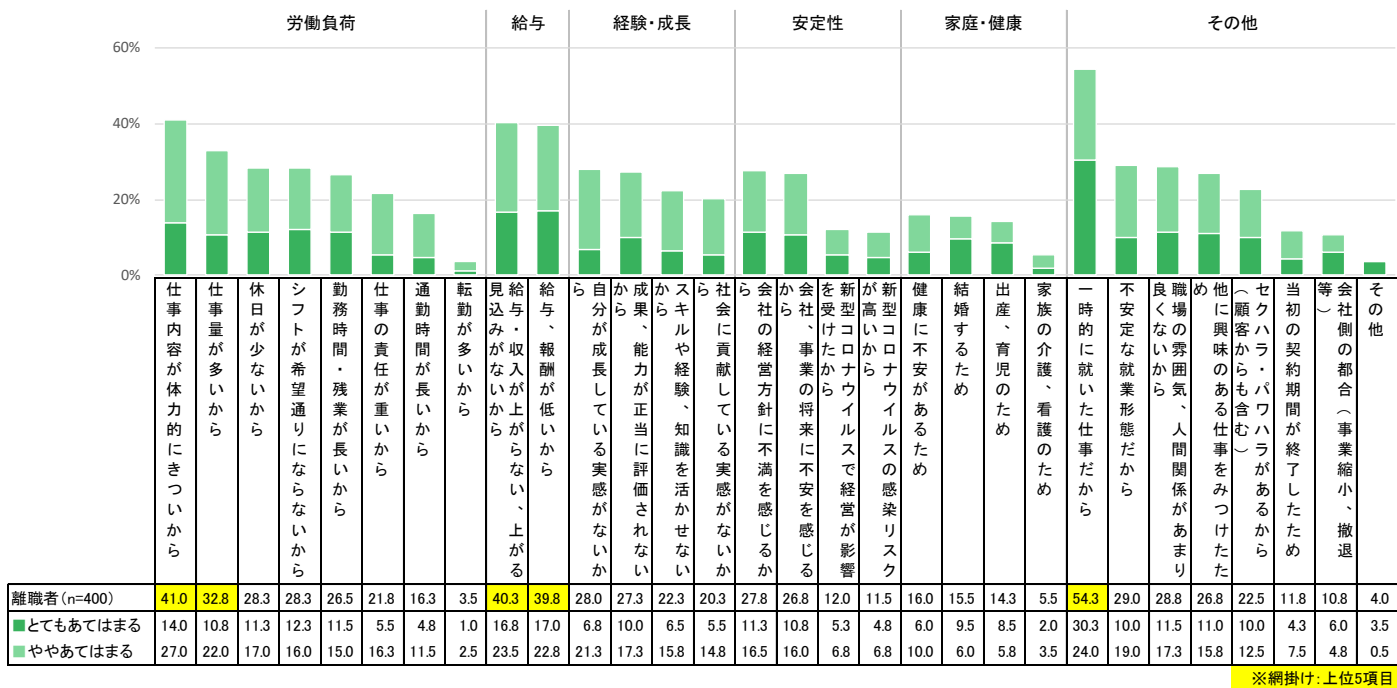
また、過去に飲食業で働いていたが離職した人に離職理由を聞くと、「一時的に就いた仕事だから」のほか、上記と同じ給与や労働負荷に関する項目が上位となった。新型コロナウイルスに関しては、コロナ前に離職した人も多いため割合が比較的低くなっている。

■辞めたいと思った理由



Q あなたが現在の勤務先（店舗、事業所、支社）を「辞めたい」と思ったのはどのような理由からですか。【対象：就業者のうち辞めたいと思ったことがある人】（単一回答「とてもあてはまる／ややあてはまる／あまりあてはまらない／全くあてはまらない」）

■離職理由



Q あなたが以前、飲食業の仕事で働いていたにもかかわらず、離職した（辞めた）のはどのような理由からですか。【対象：離職者】（単一回答「とてもあてはまる／ややあてはまる／あまりあてはまらない／全くあてはまらない」）

意向理由、非意向理由

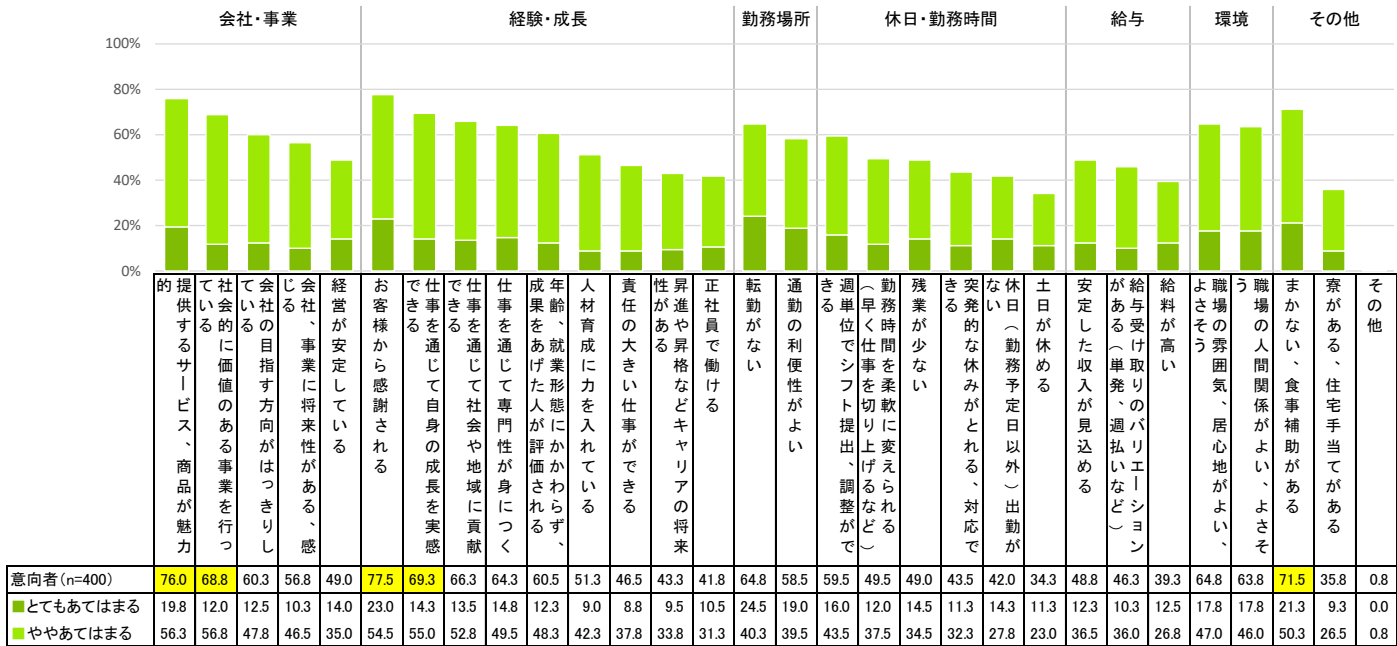
意向者

非意向者

飲食業で働いたことはないが働いてみたい気持ちがあるという人にその理由を聞くと、「お客様から感謝される」「提供するサービス、商品が魅力的」などが上位に挙がった。「仕事を通じて自身の成長を実感できる」も上位となったが、実際に勤務して成長実感が十分でない場合は、離職理由につながる可能性もあるだろう。

一方、飲食業で働いたことはなく働いてみたい気持ちもないという人に理由を聞くと、「仕事内容が体力的にきつそうだから」などの労働負荷や、「給与、報酬が低い、低そうだから」などの給与に関する項目が上位となった。

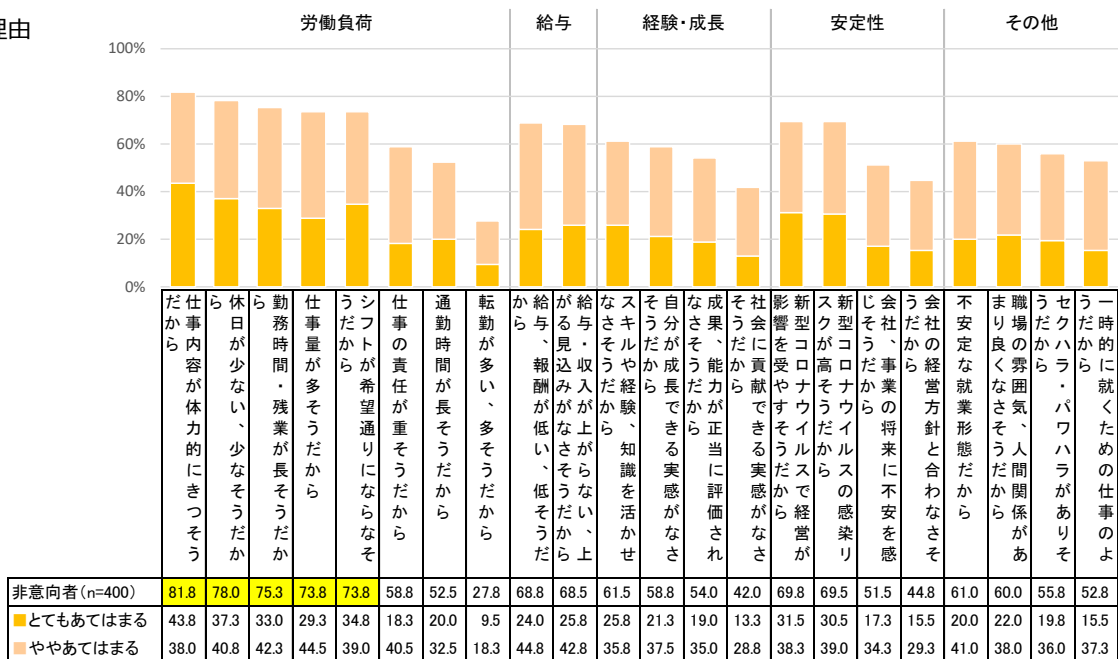
■意向理由



※網掛け：上位5項目

Q あなたが飲食業で「ぜひ働いてみたい」または「働いてみたい」とお答えになったのは、どのような理由がありますか。【対象：意向者】（単一回答「とてもあてはまる／ややあてはまる／あまりあてはまらない／全くあてはまらない」）

■非意向理由

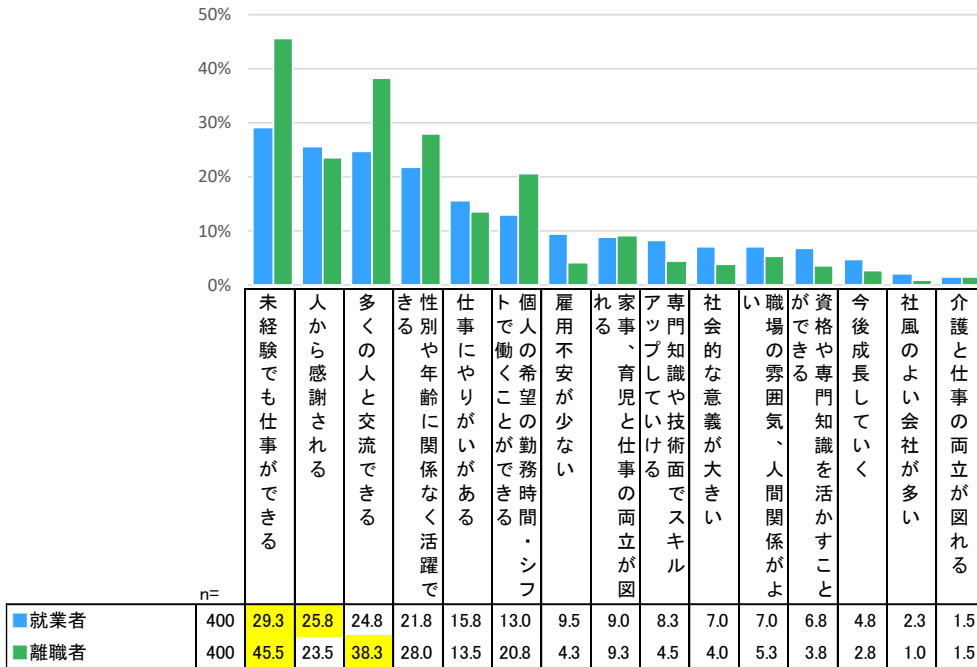


※網掛け：上位5項目

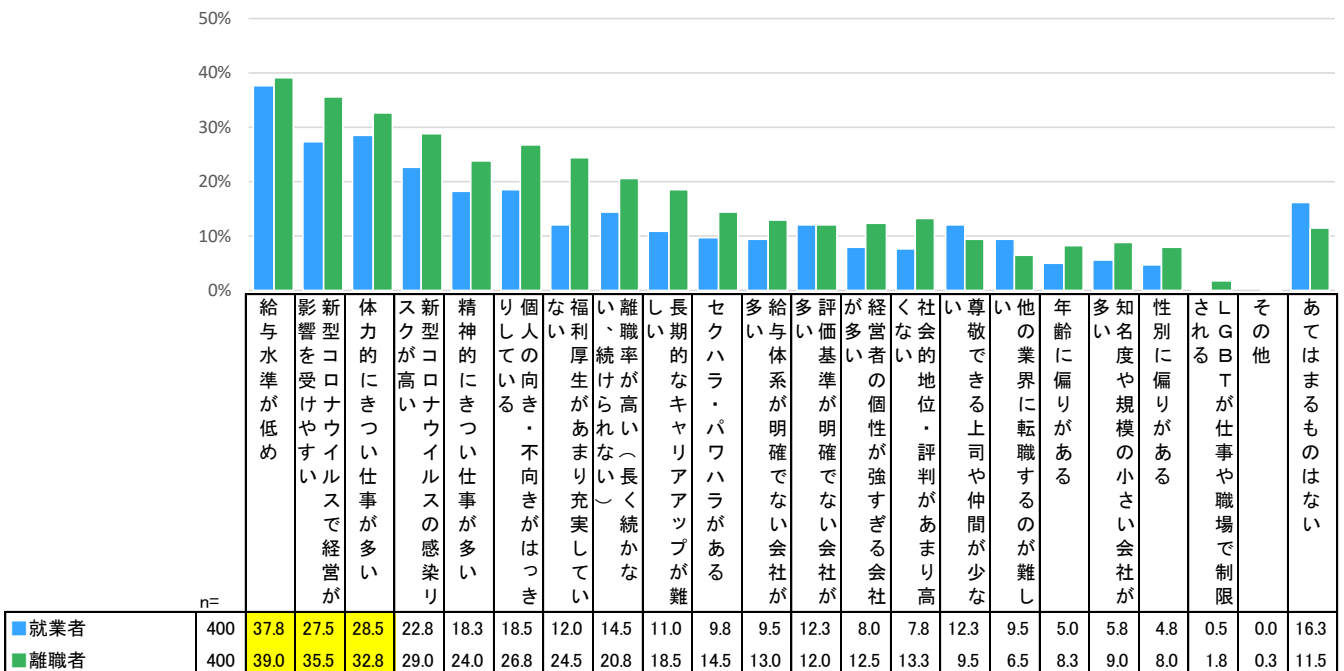
Q あなたが飲食業で「働きたくない」または「全く働きたくない」とお答えになったのはどのような理由からです。【対象：非意向者】（単一回答「とてもあてはまる／ややあてはまる／あまりあてはまらない／全くあてはまらない」）

就業者と離職者に飲食業の仕事のイメージを聞くと、「未経験でも仕事ができる」「人から感謝される」「多くの人と交流できる」「給与水準が低め」「新型コロナウイルスで経営が影響を受けやすい」「体力的にきつい仕事が多い」などが上位となった。「未経験でも仕事ができる」「多くの人と交流できる」で差があるのは、離職者の方がアルバイト・パートでの経験者が多いなどの違いも影響しているものと推測される。

ポジティブ



ネガティブ



※網掛け: 上位5項目

Q あなたは、飲食業の仕事について、どのような印象をもっていますか。【対象：全員】（複数回答）

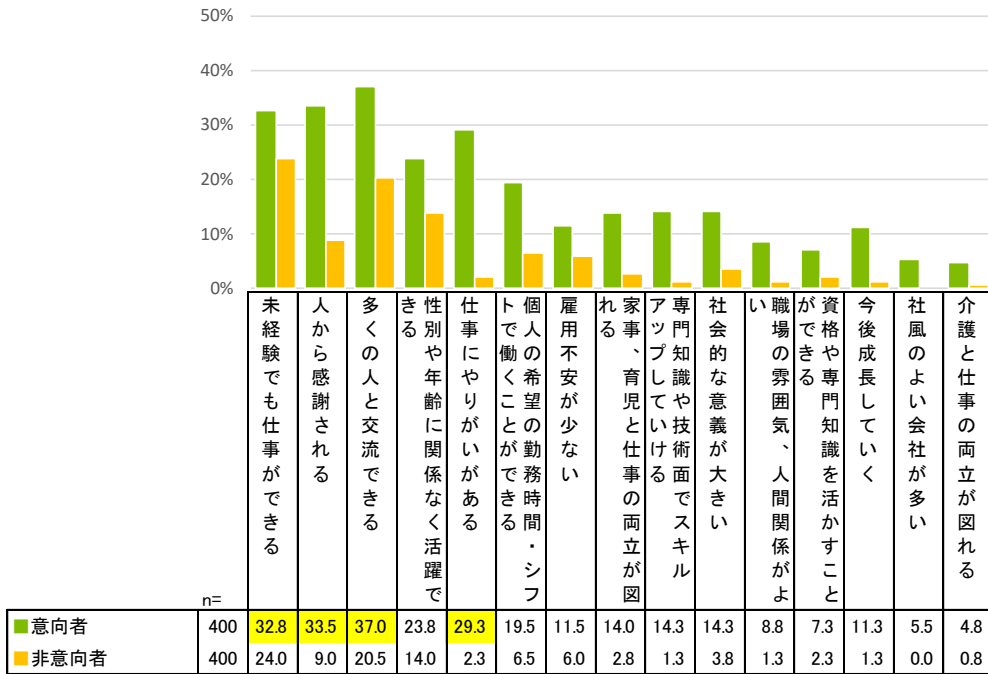
飲食業のイメージ

意向者

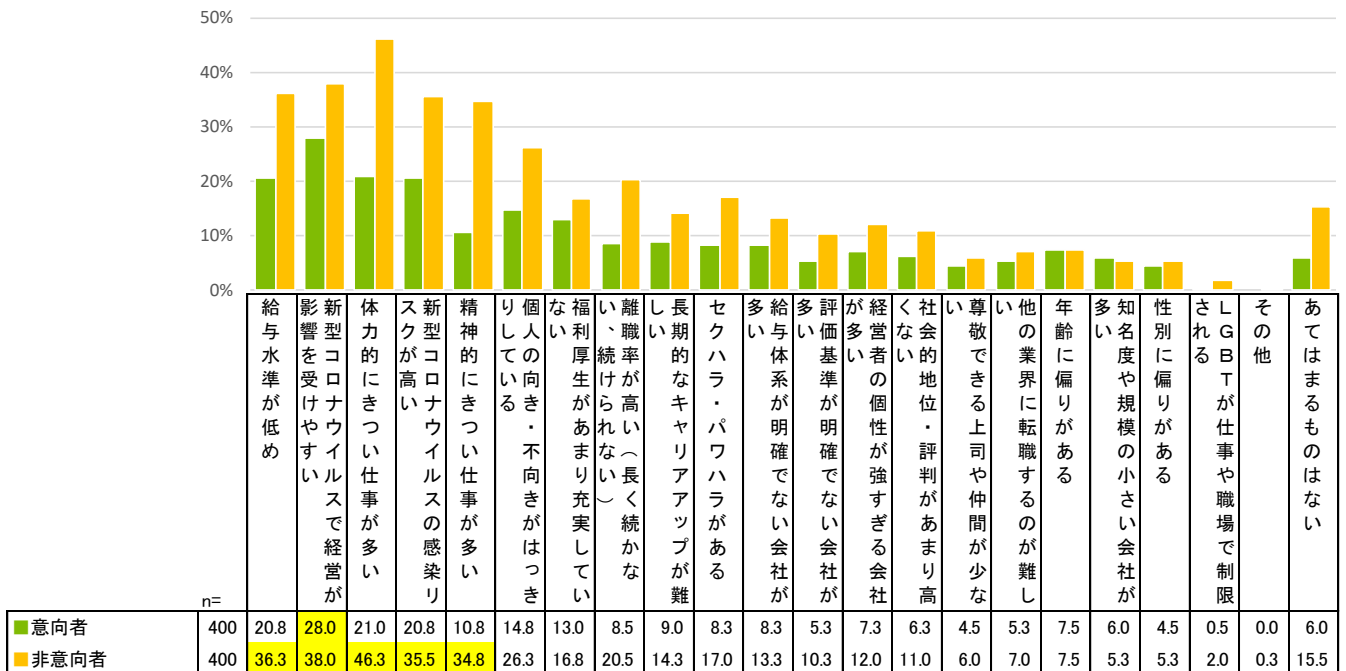
非意向者

意向者と非意向者に飲食業の仕事のイメージを聞くと、意向者では「多くの人と交流できる」「人から感謝される」「未経験でも仕事ができる」「仕事にやりがいがある」といったポジティブな項目が多く上位に挙がった一方、非意向者では「体力的にきつい仕事が多い」「新型コロナウイルスで経営が影響を受けやすい」「給与水準が低め」といったネガティブな項目が上位となった。

ポジティブ



ネガティブ



※網掛け: 上位5項目

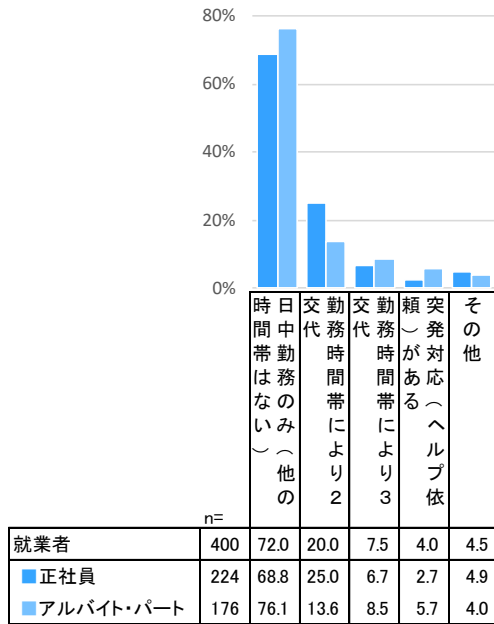
Q あなたは、飲食業の仕事について、どのような印象をもっていますか。【対象：全員】（複数回答）

勤務時間

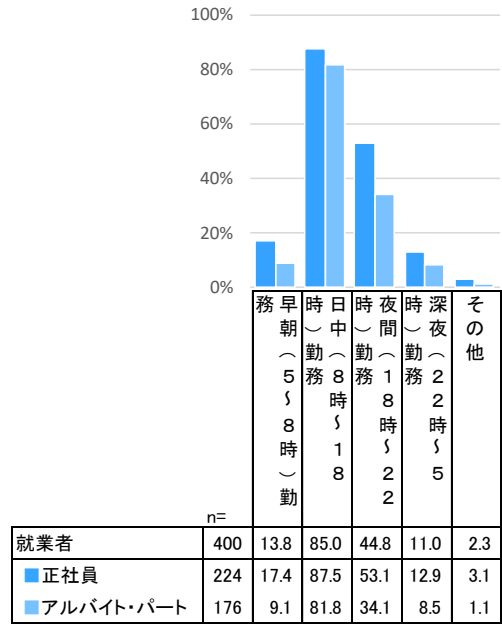
就業者

飲食業の就業者の勤務形態は、「日中勤務のみ（ほかの時間外はない）」という人が約7割。時間帯では「早朝（5～8時）勤務」「深夜（22時～5時）勤務」があるという人はそれぞれ約1割だった。代表的な勤務曜日は「土曜日」が約6割、「日曜日」も約5割だった。就業開始時刻は「8時台」～「11時台」が多く、終了時刻はより分散しているといえるだろう。（次ページ参照）

■ 勤務の形態

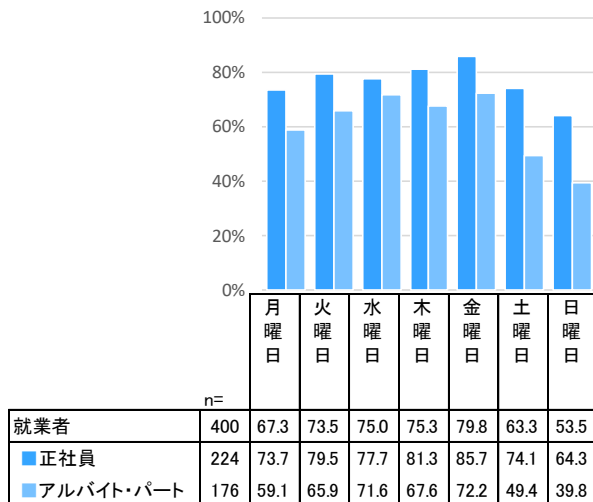


■ 勤務の時間帯

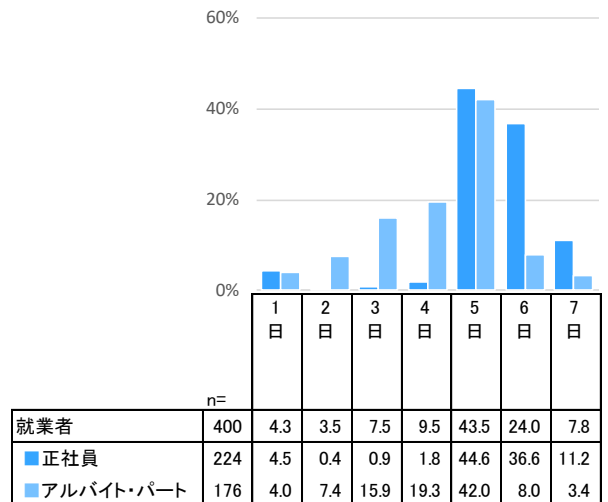


Q あなたの現在の「勤務の形態」と「勤務の時間帯」で、あてはまるものをお知らせください。【対象：就業者】（複数回答）

■ 勤務曜日



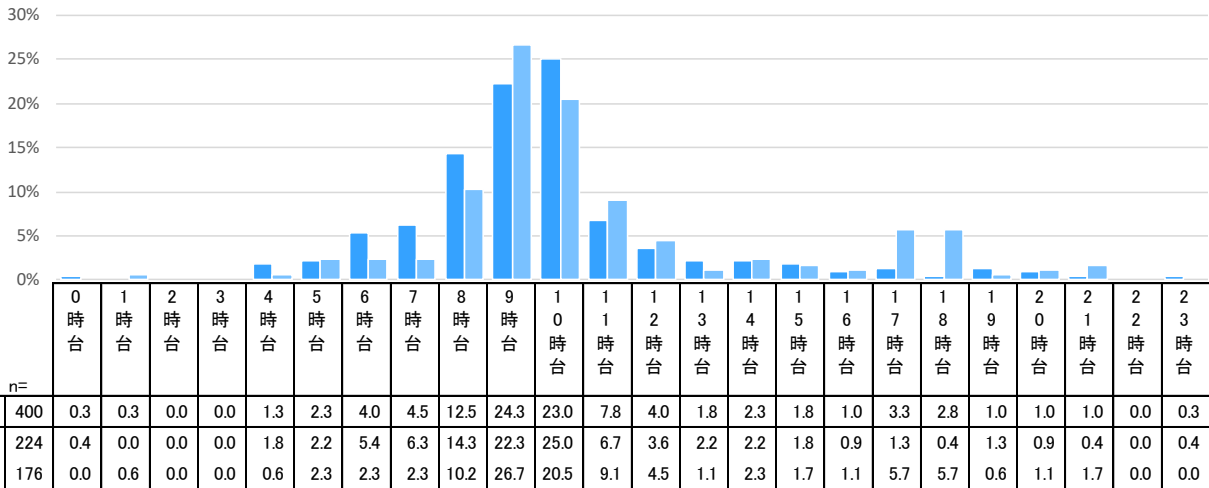
■ 勤務曜日の選択数



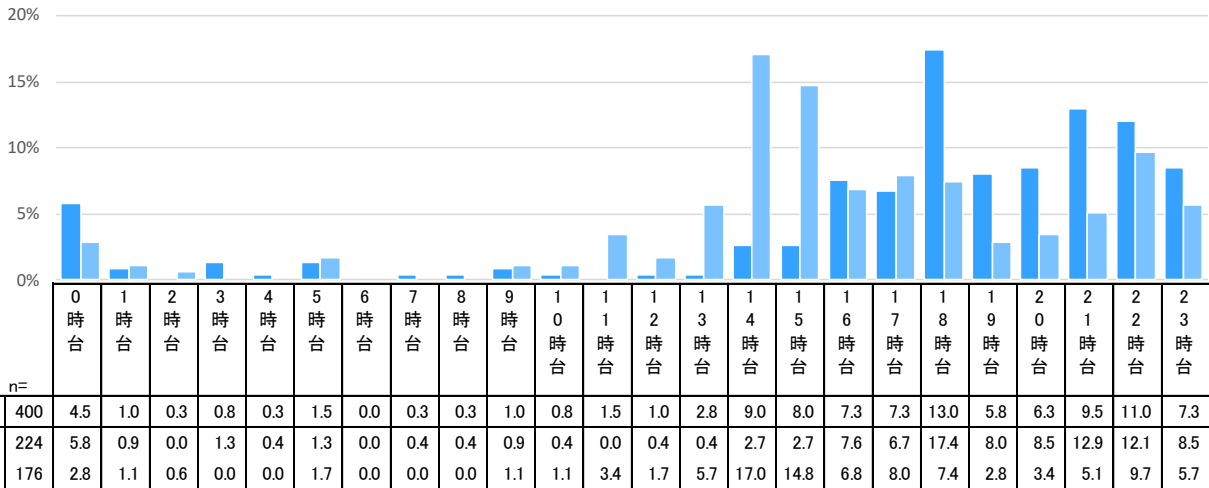
Q あなたの代表的な（よくある）1週間の勤務曜日をお知らせください。【対象：就業者】（複数回答）

勤務時間 **就業者**

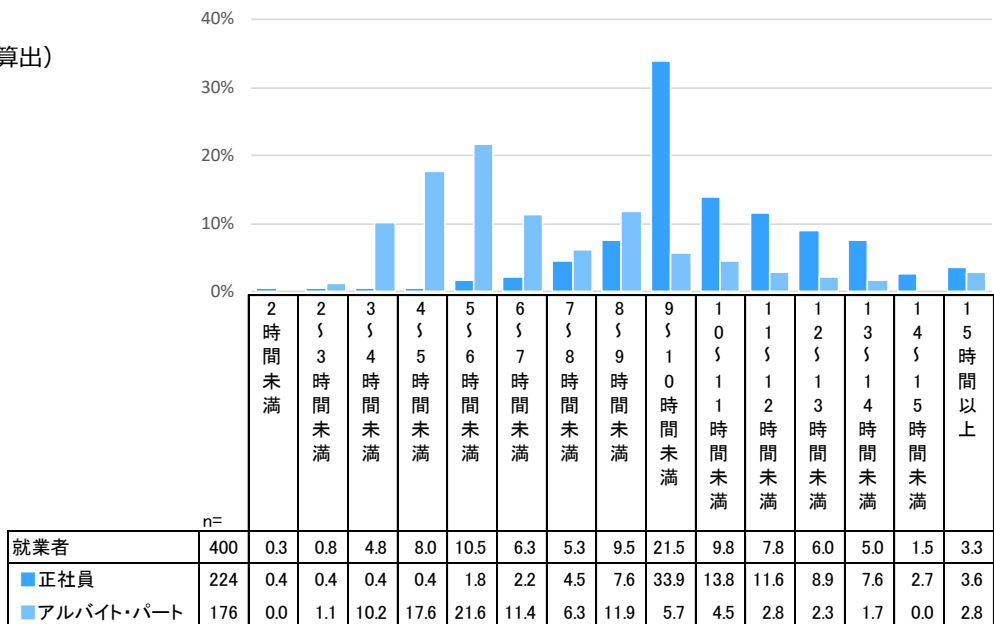
■ 開始時刻



■ 終了時刻



■ 勤務時間数
(上記2問より算出)



Q あなたの代表的な(よくある)勤務の就業開始時刻と終了時刻について、ご記入ください。【対象：就業者】(数値回答)

回答者プロフィール

■性別

	n=	男性 (%)	女性 (%)
就業者	400	43.8	56.3
離職者	400	21.8	78.3
意向者	400	33.3	66.8
非意向者	400	44.8	55.3

■年齢

	n=	20歳以下 (%)	25歳以下 (%)	30歳以下 (%)	35歳以下 (%)	40歳以下 (%)	45歳以下 (%)	50歳以下 (%)	55歳以下 (%)	60歳以下 (%)
就業者	400	11.3	8.8	8.5	12.5	15.3	15.8	15.0	7.3	5.8
離職者	400	6.0	8.0	8.0	11.5	11.0	15.3	16.0	10.8	13.5
意向者	400	9.5	14.8	8.8	13.3	11.5	12.3	10.0	8.3	11.8
非意向者	400	0.8	5.0	5.5	7.3	8.5	14.5	17.8	17.5	23.3

■職業

	n=	正社員 (%)	アルバイト・パート (学生アルバイト有り) (%)	学生 (アルバイト無し) (%)	専業主婦 (%)	無職 (%)
就業者	400	56.0	37.8	6.3	0.0	0.0
離職者	400	20.8	29.5	1.0	1.0	36.3
意向者	400	43.3	21.0	4.5	0.5	26.3
非意向者	400	37.8	16.5	0.0	0.3	26.3

※レポート中の「アルバイト・パート」は「学生（アルバイト有り）」を含む。

■経験のある業種

	n=	飲食業 (%)	卸売業、商社 (%)	小売業 (コンビニエンスストア) (%)	販売 (アパレル・雑貨) (%)	小売業 (スーパー、その他) (%)	建設、土木関連業 (%)	製造業 (自動車関連など) (%)	製造業 (食品関連など) (%)	その他製造業 (%)	運輸業 (タクシー、バス等の運転手含む) (%)	通信業 (電話、電気通信) (%)	金融業 (銀行、保険、証券) (%)	不動産業 (%)	医療サービス (%)	介護サービス (%)	ホテル・宿泊業 (%)	教育機関、教育関連 (%)	警備業 (%)	その他 (%)	働いたことがない (%)
就業者	400	100.0	2.3	5.3	6.5	8.5	2.5	2.3	4.8	5.3	4.0	1.0	3.8	1.8	2.8	2.3	5.0	4.0	1.3	3.0	0.0
離職者	400	100.0	7.3	14.8	12.5	27.5	10.0	7.5	11.3	16.5	6.8	4.5	11.0	4.0	11.0	7.5	12.5	7.3	2.5	19.8	0.0
意向者	400	0.0	9.3	5.8	4.3	15.0	8.8	4.8	5.5	16.8	7.8	3.5	6.5	2.5	12.8	6.0	4.5	13.0	2.3	15.5	0.0
非意向者	400	0.0	12.0	2.5	4.0	10.5	7.0	6.0	4.0	25.0	8.5	5.0	13.5	2.3	7.8	3.0	6.8	1.3	21.3	0.0	

■勤務先の業態 (就業者)

■経験のある業態 (離職者)

	n=	食事主体											軽食主体				飲酒主体												
		亭、和食料理店 (除く)	中華料理店	レストラン、洋食店	レストラン、食堂、ダイニング	フレンチ・イタリアン料理店	料理店	アジア料理店	焼肉、ステーキ、ハンバーグ等	店	お好み焼き、鉄板焼き等の専門店	おでん等の専門店	すき焼き、しゃぶしゃぶ、鍋、し等	ファミリールーレストラン、回転すき等	タ、ピザ等の専門店	ラーメン、そば、うどん、パスタ	その他の食事を主体とする業態	ガストフード (ハンバーガー、サンドイッチ等)	業態	牛丼、カレー等、一品もの専売	立食のラーメン、うどん・そば	喫茶店・カフェ	の店	等、飲酒メインの業態を含む	居酒屋 (焼鳥、串焼き、串揚げ)	ホール、バル、ワインバー、ビア	その他の飲酒を主体とする業態	あてはまるものはない	食事主体
就業者 (現在、単一回答)	400	12.8	4.0	13.8	5.0	0.3	4.3	1.3	0.5	7.3	8.3	7.3	4.5	2.8	0.0	12.0	4.8	8.0	2.8	0.8	0.0	64.5	24.0	11.5					
離職者 (経験、複数回答)	400	15.5	5.5	18.5	5.8	1.3	7.5	3.5	2.0	14.5	12.0	7.0	15.0	3.0	1.5	26.0	5.5	18.8	7.8	7.0	0.0	67.3	45.0	25.8					

※「レストラン (ファミリーレストラン以外)、食堂、ダイニング、洋食店 (フレンチ・イタリアン以外)」